

2019年度前期(第22回) 2級 実技(論述)試験 解答の要素

問1 相談者がこの面談で相談したい「問題」は何かを記述せよ。(20点)

*相談者(CL)の発言の中から、「根拠」を示して記述します。

-
- ①CL2から、無期契約社員として新しく担当している社内研修の仕事より前の仕事の方が向いているのではないかと思うが戻して欲しいとは言うわけにもいかず、どうしたらよいか分からなくなっている。
- ②CL4から、企画を考え直すにしても、何が良くなかったのか分からなくて、すっかり自信を失くしてしまっている。
- ③CL4から、新しい仕事にチャレンジさせてもらっているのに、上司にも簡単に弱音を吐くわけにもいかず、人事部の同僚には迷惑をかけられないので、自分が不甲斐ないと思っている。
- ④CL5から、この先もずっとこんな感じが続くのかと思うと、不安でいっぱいである。
-

問2 キャリアコンサルタントとしてあなたが考える、相談者の「問題」は何かを記述せよ。(20点)

*①自己理解、②仕事理解、③長期のキャリア・ライフプラン、④コミュニケーション、⑤性格や考え方の特徴(自己肯定感・自己効力感)などで、考えていきます。

-
- ①自己理解に関して:社内研修の仕事よりも前の仕事の方が向いているのではないかと言っているが、自分の興味・関心だけでなく、どのような能力・適性をもっているかについて正しく理解していない。
- ②仕事理解に関して:新しく担当することになった社内研修の仕事について、社員研修の意味づけ、研修を実施するための仕事の意味や内容、業務の進め方の段取りなどについての理解が十分ではない。
- ③長期のプランに関して:この先もずっとこんな感じが続くと思うと不安でいっぱいと言っているが、将来的には研修の主担当として頑張りたいと期待されて頑張っている自身の長期的なキャリアプランやライフプランの視点から、働き方について考えることができていない。
- ④コミュニケーションに関して:上司には弱音を吐くことが出来ず、同僚には迷惑をかけられないと言っているが、新しく担当することになった仕事のやり方について上司や同僚に相談し、仕事を円滑に遂行するための働きかけができていない。
- ⑤考え方の特徴に関して:「仕事にすっかり自信を失くしている」や「自分に不甲斐ない」などの発言から、自己肯定感が下がっている。また、この先も「不安でいっぱい」との発言から自己効力感も下がっている。
-

問3 あなたは、上記2つの「問題」を合わせ、相談者を援助するために、①どこに目標をおいて、②どうい
うことを実施したいか、目標と具体的な方策を記述せよ。(60点)

*目標は、問1と問2を総合したものであること(問1で示した「相談者が訴えている問題」と問2で示した「キャリアコンサルタント視点で捉えた問題」を解決する目標であること)が必要です。

「具体的な方策」は、その「目標」の記述と関連づけながら、具体的に、もれなく記述してください。

【目標】相談者が自分の能力・適性の自己理解、担当業務の仕事理解を深めることを前提に、自己肯定感を高めてもらう。仕事にやり方について上司や同僚に相談し、長期のキャリアプランの視点も見据えながら、自己効力感を高め、今後の働き方について適切に意思決定ができる状態になってもらう。

【具体的な方策】

相談者の話を傾聴して関係構築を深め、相談者が自信を失くしている気持ちや不甲斐ないと思っている気持ちを受け止めて不安を解消し、

- ①自己理解について：相談者が担当している研修企画の仕事について、興味・関心だけでなく、これまでの業務内容を振り返って棚卸しを行って、どこにやりがいを見出してきたか、どのような能力を身に付けてきたかを考えてもらうことで、自身の能力・適性などについて確認していただく。
 - ②仕事理解について：担当している社内研修の仕事について、社内における研修の意味づけ、その研修を実施するための業務の内容やプロセスについての理解、実施に向けた具体的な仕事の段取りなどについて考えてもらうことで、担当している仕事の理解を深めていただく。
 - ③長期のキャリア・ライフプランについて：将来的には研修の主担当にという会社の期待を踏まえ、それを可能にするために、どのようなプロセスで自身の仕事能力を向上させていくかを自分のキャリア長期的なキャリアプランとライフプランの視点から考えていただく。
 - ④コミュニケーションについて：新しく担当することになった仕事の進め方などについて、一人で抱え込まず、上司や同僚に相談してアドバイスや支援を受けることの大切さについて理解していただく。
 - ⑤性格傾向について：仕事について自信を失くしていることから、これまでの仕事や新しい仕事での成果や実績を考えて自己肯定感を高めてもらう。また、これからのことについて不安を感じていることから、期待されていることを実現するために、一歩ずつ実績を積み上げていくことの重要性に気づいていただく。
 - ⑥相談者に、これらの点について気づきを促すための働きかけを行うことで、相談者が今後の働き方について適切な意思決定ができるように支援する。
-